



(財)日本医療機能評価機構認定病院
医療法人 同信会
福岡整形外科病院 広報誌
FUKUOKA ORTHOPAEDIC HOSPITAL

2017 Summer
Vol.47

サ・エ・ラ

Take Free 

Cà et là

サ・エ・ラはフランス語で「ここかしこ」を意味し、皆様と病院の情報提供・交換をモットーとするものです。



『真夏のトイプードル』 撮影者：職員 中村 智也

理 念

私たちは「信」を重んじ、医療人としての職業倫理を遵守し、誠実な医療活動をおこないます。
私たちは、整形外科の専門知識と技術を研鑽し、最新、最良の医療を提供します。

基本方針

- 患者さまが個人の尊厳を尊重され、公平に安心して診療がうけられますように医療環境を整備し、常に対話を通じて病状の理解に努め、皆様にご満足いただける医療をめざします。
- 診療におけるいかなる個人情報も、秘密は守られプライバシーは厳正に保護されます。
一人ひとりの患者さまの病状を把握して、十分な説明をおこない、患者さまとともに最良の治療法を選択します。
- 病院は医療環境の安全管理を常に考え、職員の教育に努めます。
- 職員は病院の理念を十分に理解し、各自の専門技術の向上・研鑽に努力します。
- 地域医療機関との連携を密にして、整形外科の専門医療をもって地域医療の役割を分担します。

Contents

- 01 巻頭あいさつ
- 02 お知らせ
- 03-04 整形外科の疾患
オスグッド・シュラッター病
- 05-06 栄養課だより／リポート
- 07-08 お知らせ／PICK UP!
- 09 お知らせ
- 10 院外研修実績



40周年記念祝賀会を 開催しました

福岡整形外科病院
看護部長

鹿子嶋 有子



福岡整形外科病院は、2017年6月6日(火)をもって創立40周年という節目を迎えました。そこで去る2017年6月10日(土)に西鉄ソラリアホテルにて、創立40周年記念祝賀会を開催しました。

JA共済連福岡の方々、福岡市南区医師会の先生方、当院OBの先生方、職員など、パーティーには総勢245名が出席しました。

理事長挨拶に続き、院長の挨拶、来賓の方々にお言葉をいただき、祝宴が始まりました。歓談中にアビスパ福岡の井原監督からのお祝いメッセージビデオが流れると、会場では歓声が上がっていました。

パーティーの中盤には、記念ムービーの上映が行われました。当院の紹介動画では、病院創設時の方々の熱い思いと努力を改めて思い起こすきっかけとなりました。続いて世界中でブームになっているファレル・ウィリアムスの楽曲「Happy」に合わせて職員が踊るミュージックビデオが上映されました。福岡整形外科病院の日常風景などとともに、病院関係者の方々にも参加いただき、上映の際には笑いも聞こえ、楽しんでいただけたのではないかと思います。

前回の35周年から早5年。その間に、電子カルテの機能強化をはじめ、標榜診療科への麻酔科追加、スプリンクラー追加設置工事、地域包括ケア病棟開設、外来駐車場の拡張、人型ロボット(ペッパー)の導入、日本医療機能評価機構の更新審査など数々のあゆみがありました。

最近では、2017年4月1日(土)付けで、院長が王寺享弘から吉本隆昌に交代しました。院長交代後も王寺理事長、吉本院長、徳永副院長のもと、病院一丸となって整形外科の発展のため努力してまいり所存です。

こうして40周年を迎えられるのも、皆様のご支援・ご指導・ご鞭撻の賜物と深く感謝しております。吉本院長のメッセージである、「医療従事者として整形外科分野を目指すなら『福岡整形外科病院で!』といわれるような病院へと、さらに発展することを目指してまいります」。

これからも医療法人同信会 福岡整形外科病院をよろしくお願いいたします。



▲吉本院長と和服で正装した師長たち



▲式典の様子

南区自衛消防隊操法大会

ダブル入賞果たす！

平成29年6月9日(金)、塩原中央公園にて「第36回南区自衛消防隊屋内消火栓操法大会」が行われました。この大会は、消火栓から28m先の火点(出火点)に向け素早くホースを引いて放水し、的確にホースを格納する、一連動作の正確さ・機敏さを競うものです。

当院からは、2人操法男子の部・2人操法フリーの部の2部門にエントリーし、男子の部が「敢闘賞」、フリーの部が「優勝」を受賞しました。

操法大会を終えて



▲全員で記念撮影



▲表彰を受けるフリーの部



▲敢闘賞に輝いた男子の部



▲みごとに優勝を勝ち取ったフリーの部

2人操法男子の部

指揮者 磯部 真一(3F病棟看護師)

今年度の福岡整形外科病院の自衛消防隊として選出され、屋内消火栓の扱い方だけでなく操法の動作を指導された時、不慣れな動作に戸惑いながら訓練を受けていました。しかし、消防士の方々に丁寧かつ熱心に指導していただき、次第に動作に慣れパートナーとの息が合っていました。

やるからには優勝したいと意気込んで本番に臨み、優勝は逃しましたが敢闘賞を受賞できました。フリーの部は優勝となり、メンバー全員で喜びを分かち合えました。様々な方にご支援を賜り、本当に感謝しています。

今後はこの経験を活かし、火災の際にリーダーシップが取れるよう行動していきたいです。

1番員 坊野 一生(東3F病棟看護師)

自衛消防隊のメンバーに選ばれた時は戸惑いもあり、訓練初日は初めての消火栓の取り扱いや操法の動きを覚えることができて大変でした。しかし、短い訓練期間の中で、熱心に指導して下さった消防署の方々のおかげで、訓練を重ねる毎に少しずつ自信がついてきました。大会前には隊員の結束力も高まり、男子の部・フリーの部共に優勝したいという気持ちも強くなってきました。

大会当日、フリーの部は優勝という素晴らしい結果を残すことができました。男子の部は惜しくも敢闘賞でしたが、ダブル入賞という結果を残すことができて大変嬉しく思います。

今回、操法大会までの訓練で消火栓の取り扱いを学び、防災意識が高まったのはもちろんですが、他職種である隊員と共に訓練する中で、チームワークの大切さを学ぶことができました。

2人操法フリーの部

指揮者 滝沢 晴香(リハビリテーション科)

自衛消防隊のメンバーに選ばれて、最初は短い練習期間で操法の動きやかけ声を覚えられるのか、不安でいっぱいでした。しかし、消防署の皆さまの熱心なご指導のおかげで、大会当日は自信をもって本番に挑むことができました。

練習は大変でしたが、男女ともに賞をいただき、それ以上の喜びと達成感が得られたと思います。指導していただいた消防署の方々、応援・サポートして下さった病院スタッフや患者さま、一緒に参加したメンバーに心から感謝致します。

今回このような貴重な経験をさせていただき、改めて防火・防災への意識を高めることができました。本当にありがとうございました。

1番員 中島 沙恵(栄養課)

自衛消防隊に選ばれたときは、恥ずかしがりやの私にとって驚きと不安でいっぱいでした。練習当初は、操法の基本の動きがなかなかできず、ますます不安になり、どうなるかと心配でした。

消防士の方々の熱心な指導と、病院のスタッフの皆さまの応援のおかげで、怪我もなく本番を迎えることができました。とても緊張しましたが、優勝することができ、とても貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

制服が新しくなりました

今夏より、放射線技師・看護助手・医療ソーシャルワーカー・事務員・調理員の制服が一斉にリニューアルされました。

これまで、病院といえば白衣というイメージが強かったですが、近年は患者さまにより身近に、親しみを持っていただくためにも、視覚的印象が重要視されてきています。

各部署とも色鮮やかにリニューアルされ、院内がいっそう明るくなりました。これをきっかけに職員をより身近に感じていただければ幸いです。



放射線技師



看護助手



医療ソーシャルワーカー



事務員



調理員

知っておきたい

整形外科の疾患

オスグッド・シュラッター (Osgood-Schlatter) 病

解説します！

医長 碓 博哉

日本整形外科学会 専門医
アビスパ福岡 チームドクターチーフ

1

疾患の代表的な症状

10～15歳くらいの活発な発育期の男子に起こりやすいのが特徴です。

症状は、ひざのお皿の下（脛骨粗面）の骨が徐々に突出してきて、運動時の痛みを訴えます。特にボールを蹴る、ジャンプなどの動作時に痛みが出ます。時には、赤く腫れたり、熱を持ったりすることがあります。運動や疲労によって痛みが増し、休んでいると痛みがなくなります。また通常の歩行では、痛みを感じないことが一般的です。

2

オスグッド・シュラッター病とは どんな病気でしょうか？

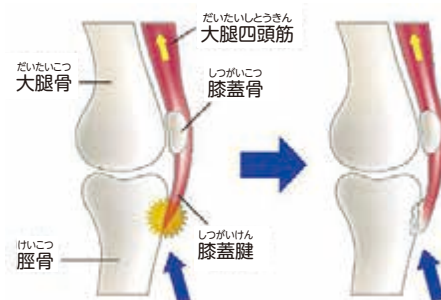


オスグッド・シュラッター (Osgood-Schlatter) 病は、アメリカの医師Osgoodとドイツの医師Schlatterによって報告されたため、オスグッド病やシュラッター病と呼ばれることもありますが、正式にはオスグッド・シュラッター (Osgood-Schlatter) 病と呼ばれています。

下肢の筋肉の中で、最も大きな太ももの前の筋肉（大腿四頭筋）は、膝蓋骨を通して膝を伸ばす力として働きます。スポーツなどで膝を伸ばす力の繰り返しにより、大腿四頭筋が膝蓋腱付着部を介して脛骨粗面を引っ張る力がかかるために、脛骨粗面の成長線に過剰な負荷がかかり、成長軟骨部が剥離することで生じます。（図1）

発育期の子どもは特に、脛骨粗面の骨が急激に軟骨から成長する時期であるため、この影響を受けやすくなります。

特に発症しやすいスポーツは、サッカー、バスケットボール、バレーボールなどがあります。



▲図1

3

検査と診断

診断は、左記のような特徴的な症状と脛骨粗面の圧痛や隆起である程度可能ですが、レントゲン(X線)検査を行うことで確定します。(図2)

また、スポーツ歴(スポーツの種類、練習量など)についても、問診で詳しく聴くことも重要です。



▲図2

4

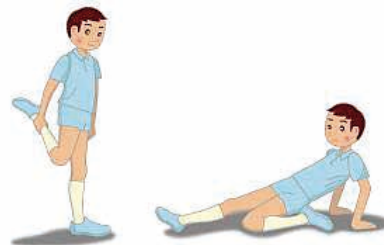
治療と予防

発育期の一過性の病気で、成長が終了すると多くは治癒するため、治療は保存療法が基本となります。痛みが強く、脛骨粗面に局所の炎症所見が見られるときは、スポーツを控えることが大切です。また、脛骨粗面を刺激するような動作(正座など)も控える必要があります。

症状を強くさせないためには、大腿四頭筋のストレッチング(図3)やアイスマッサージなどを行い、痛みが強いときは、内服や湿布をします。まれに保存療法に抵抗し、遊離骨片の刺激による炎症が強い時には、手術的に骨片を摘出することがあります。

痛みがなくなれば、スポーツは可能です。

発症後3~6ヵ月はスポーツをすると症状が強くなるので、スポーツの前後にストレッチングやアイスマッサージ、ベルトの装着(サポーター)などをした上でスポーツをすることをお勧めします。



▲図3

5

日常の対策及び当院のPR

オスグッド・シュラッター(Osgood-Schlatter)病は、スポーツをしている発育期の男子に多いスポーツ障害の一つであり、運動時の脛骨粗面の痛みがあれば、まず疑わなければならない疾患です。保存療法で多くは治癒するため、早い段階での検査・診断を行い、適切な対処が必要です。

当院ではアビスパ福岡のチームドクターも行っており、スポーツ整形にも力を入れています。スポーツ障害でお悩みがあれば、一度ご相談ください。





嗜好調査 集計結果

先日、入院患者さまを対象に嗜好調査を行いました。
ご協力いただいた方々、ありがとうございました。

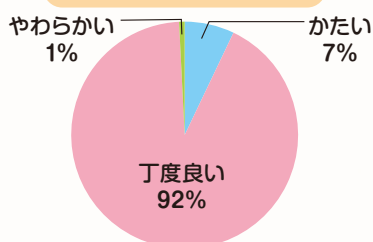
調査日 2017年2月15日(水)

調査対象 入院患者 154名

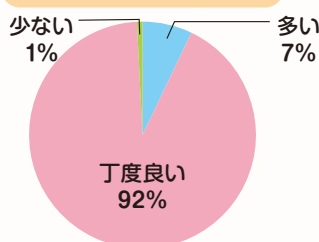
回収率 82.50%(127枚)

主食について

かたさはどうですか？

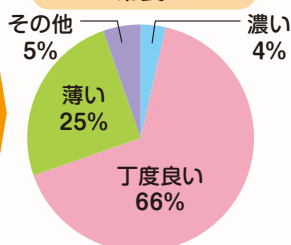


量はどうか？

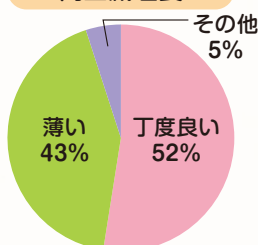


味付けについて

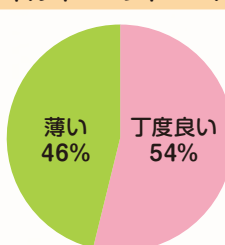
常食



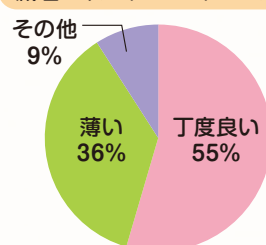
高血減塩食



エネルギーコントロール食

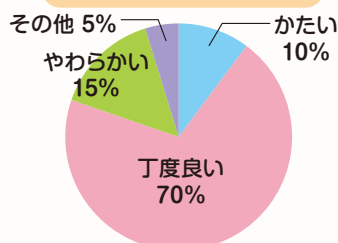


減塩エネルギーコントロール食

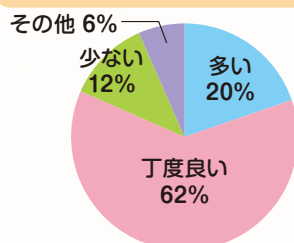


副菜について

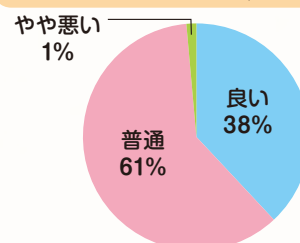
かたさはどうですか？



量はどうか？(特食の方のみ)



盛り付けはどうか？(特食の方のみ)



患者さまの声

『味付けが薄い(常食・エネルギーコントロール食)』

▶ 病院の食事自体、普段のお食事より減塩になっている場合があります。薄味でもおいしく食べられる様、献立や調理法で工夫していきたいと思います。

『味付けが薄い(高血減塩食・減塩エネルギーコントロール食)』

▶ 治療食として6g/日と決められた塩分内で提供しています。家での味付けが濃い場合は慣れるまで味がしないこともあると思います。常食同様、献立や調理法で工夫していきたいと思います。

『味にばらつきがある』

▶ 献立によって濃くできるものは、しっかり味をつけていることがあります。味見を徹底し、なるべく差がないようにしていきます。

『朝食にくだものをつけてほしい』

▶ 現段階では作業性に問題があり、難しい状況です。今後、検討していきたいと思います。

『常食にも、昼食・夕食にくだものをつけてほしい』

▶ 提供できるように、献立・作業の見直しを行います。

『もっと肉が食べたい』

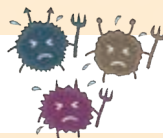
▶ 当院では毎日の食事であるべく重複しないように肉と魚を交互で提供しています。普段魚を食べる機会が少ない方には、肉を食べる頻度が少なく感じられると思いますが、バラエティに富んだ食事を提供することに努めていますので、御理解いただければと思います。

今回の嗜好調査で書けなかったこと、他に気がついたことなどがあればお知らせください。

また感謝のお言葉もたくさんいただき、ありがとうございました。栄養課一同そのお言葉を励みに、より一層美味しい食事を作っていきたいと思います！



院内感染防止研修会



文責／手術中材室師長・鶴田 智子

平成29年5月17日(水)、当院職員を対象とした院内感染防止研修会を開催しました。

今回は、院内感染防止マニュアルの改訂に伴い、その変更点を説明しました。

一つは、インフルエンザの予防投与についてです。これまで職員への予防投与は任意・自己負担が原則でしたが、患者さまへの二次感染予防のため、院長・副院長・感染委員会の判断により、予防投与の必要がある場合は、病院負担にて予防投与を実施することになりました。

もう一つは、薬剤耐性菌発生時の対応についてです。薬剤耐性菌とは、通常効果があると思われる抗菌薬に対して効かなくなった細菌のことです。代表的なものにMRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)があります。薬剤耐性菌は手術後の傷などに感染を起こし、治療を遅らせ、しかも費用もかかることになります。

さらに、他の患者さまにも感染し、「院内感染」の原因となりますので、適切な予防策をとる必要があります。そのため、薬剤耐性菌発生時に迅速に正しい対応ができるよう、**薬剤耐性菌アセスメントフローチャート**を作成しました。

薬剤耐性菌は、人の手指や聴診器などの医療器具を介して感染します。今後も、正しい感染対策を継続し、「院内感染」防止に努めていきたいと思ひます。

患者さま、ご家族さまにも、来院の際には院内に設置しているアルコール製剤による手洗いなどの「院内感染」予防にご協力をお願い致します。



講師を務める鶴田師長

医療安全研修会



文責／2階病棟師長・山内 知子

平成29年7月5日(水)、「^{ごえん}誤嚥について」というテーマで医療安全研修を行いました。「誤嚥」とは、本来なら口から喉、食道を通して胃に送られる飲食物が、誤って気管に入ることと言ひます。気管に食べ物が詰まり窒息を起こすと、生命に危険があるため、迅速な対応が必要となります。

当院では「ムセやすい」患者さまには、柔らかくて飲み込みやすい食事を提供させていただいていひます。さらに、食べやすさだけでなく、味・色彩・盛り付けにも配慮し、美味しく食事をしていただけるよう配慮しています。

病棟では、患者さまの食事のお手伝いをするこゝがあります。その際は、まずは食べる姿勢を整えること、患者さまの食事のペースに合わせるこゝなどが大切でひす。研修では動画を見て、自分たちが「正しく食事のお手伝いができていひるか」というこゝを振り返りました。

また、患者さまが窒息しかけていたら、すぐに対応できるよう「背部叩打法」、「ハイムリッヒ法」という対処法を勉強しました。

いざという時には迅速に対応し、患者さまの安全を守っていきたくひ思ひます。



講師を務める山内師長

永年勤続表彰

文責／リハビリテーション科長・中山 るり

開院40周年の記念の年に6回目の永年勤続表彰を受け、大変嬉しく思っています。

新卒で入職し、その後の数年間はPT独り職場で無我夢中、思考錯誤の毎日でした。その後の福岡整形外科病院の、リハビリテーション室の礎を築くことに携わる重責に、押しつぶされそうになることもありましたが、少人数の時から一緒に働いてきたリハビリスタッフはもとより、他部署のスタッフの支えや働きやすい職場環境、そして治療を受けられた患者さまの笑顔が励みとなり今に至っていると、とても感謝しています。

新人だった頃の患者さまが来られ、「まだいたの～、苗字変わった？ 知っている人がリハビリ室にいと安心する～」と言われると、ちょっと複雑ですが嬉しいです。

そんなこんなで、今では24人となったリハビリスタッフ！若いスタッフの頭脳とエネルギーを拝借しつつ、患者さまの笑顔を糧に、戸惑いながらも自分にできることを行い、福岡整形外科病院のチーム医療を担う一員として、リハビリテーション部門の発展に寄与できればと思っています。(ファイト！)



▲永年勤続スピーチを行う中山リハビリ科長

ふれあい看護体験

平成29年7月12日(水)、高校生を対象にした「ふれあい看護体験」が実施されました。この体験は、これからの社会を担っていく高校生に実際の看護の場を提供し、看護の心を理解してもらい、また看護に興味を持ってもらうことを主旨として、例年福岡県看護協会が主催し、当院も受け入れを行っています。

今年は6名の高校生を招き、2名の現職看護師の指導のもと、看護現場を体験してもらいました。



▲車椅子体験

..... 3階病棟看護師 須藤 絵里菜

今回、高校3年生の女子生徒さんを担当させていただきました。将来は看護師になりたいという夢を持っており、緊張しながらも患者さまとのコミュニケーションを頑張っていました。看護師になるための進路や、どんなことが大変なのかなど積極的に質問があり、看護職に希望を持っている姿を見ると、自身も憧れを抱いていた頃のことを思い出しました。

この体験を忘れず、将来の夢に向かって頑張ってもらいと思います。

..... 4階病棟看護師 中野 愛弓

今回、私がふれあい看護体験で担当させていただいた高校生は皆、看護師を目指している学生でした。中には、他の病院で同じ経験をした学生もいました。

どのような体験をしたらもっと看護師の仕事イメージでき、より興味や関心を持ってもらえるのか、ということを考えながら関わるようにしました。また、この体験が彼女たちにとって楽しい思い出になるようにしたいな、と思いながら担当させていただきました。

臥床患者さまの体拭きなどの日常生活の援助や血圧測定、整形外科ならではの両松葉杖歩行や、歩行器での免荷歩行体験などを一緒に行いました。患者さまとコミュニケーションをとる際に緊張している表情や、色々な体験をする際の新鮮な笑顔は、自分の学生の頃の経験を思い出し、初心を振り返るととても良い機会になりました。

彼女たちが今後、看護師を目指していく上で、この体験を少しでも参考にしてもらえたらいいなと思いました。



▲松葉杖体験



PICK UP!

看護学生の実習が始まりました!!

未来の看護職員を育てる取り組みとして、当院は6月から私設病院協会看護学校の学生実習を受け入れています。

実習期間は1グループ3週間で、5グループの学生がみえます。『成人看護Ⅰ実習』は、成人期の周手術期にある対象の特徴を理解し、科学的根拠に基づいた基礎的な看護ができる能力を養うという目的を持って臨みます。

学生は、学内で学んだ基礎知識を基に、1人の患者さまを受け持ち、身体的、精神的、社会的側面を通して患者さまを理解できるよう関わり、看護の実践につなげていますが、直接ケアを実践することや臨床という場での学習に、戸惑いや緊張を感じている様子が伺えます。

臨床現場で私たちは、患者さまにとっての安心・安全な環境は勿論、学生にとってもより良い実習環境を提供するために、臨地実習指導者を中心に、看護部全体で学生を受け入れる体制作りに取り組んでいます。指導者に加え、院内には経験豊富な医師や他医療スタッフが学生を見守っていることも心強く感じます。

実習は他に置き換えられない貴重な校外学習です。私たち指導者は学生が抱える問題を共有し、解決できるように直接指導するだけでなく、学生の学びとなるように学校教員との連携を図りながら支援していきたいと考えています。

年度後半には実習まとめの『統合実習』もあります。

将来の看護師育成に患者さま、スタッフの皆さんのご協力とご理解をお願いします。

文責／東3階病棟主任・村澤 佳子



▲実習の様子



▲指導看護師の集合写真

母校 修猷館高校へ

先日、福岡県立修猷館高校の卒業生として、キャリアセミナーの講演を行ってきました。キャリアセミナーとは、様々な職種の卒業生から、現職に至るまでの過程や仕事内容を生徒の目線で伝え、現役高校生のこれからの進路選択の一助となるべく企画されたものです。

講演では、当院がアビスパ福岡のチームドクターをさせていただいていることもあり、“アビスパ福岡とともに～チームドクターとして～”と題して、チームドクターとしての苦労、やりがい、またちょっとした裏話も踏まえながらの90分間の講演でした。昭和最後の卒業生らしく、スライドなどは用いずアナログな講演を依頼され、戸惑いもありましたが、居眠りする生徒もなく、グループディスカッションでは様々な意見や質問がありました。

後輩である現役高校生を目の前に、母校の教壇に立てたのは感慨深く、また自分を見つめ直す良い機会となりました。後輩修猷生の誇りとなるような先輩となるべく、今後も日々精進して行かねばと身の引き締まる思いに駆られました。

文責／医長・碇 博哉



▲講義をする碇医長

防災訓練

平成29年5月29日(月)、防災訓練を実施しました。
今回は通常行われる防火訓練に加え、近隣事故発生時の
当院の対応を踏まえた「トリアージ訓練」も行いました。



防火訓練

まず防火訓練は、夜間に軽食喫茶室の厨房から出火したことを想定し、夜勤スタッフによる初期消火から避難誘導までを訓練しました。

夜間に発生する火災はマンパワーの課題もあり、当院としては常に警戒しています。まず火は絶対に出さない、そして万が一、火災が起きても、今回を含めたこれまでの訓練をもとに、全力で患者さまをお守りします。



▲初期消火の様子



▲避難誘導の様子

トリアージ訓練

トリアージとは、「複数の負傷者が発生した際に、治療や搬送の優先順位を決める」ことであり、大規模な災害や事故の際に行われます。当院では5年ぶりの本訓練となり、近隣での大型バスを含む多重事故で多数の負傷者が運ばれてくるという想定で行いました。

今回の訓練では、救護場所の確保など課題・反省点がたくさん出てきましたが、徳永副院長のトリアージのもと、職員一人ひとりが自身の役割を再認識する機会となりました。

今後も定期的に訓練を行い、職員の意識向上に努めてまいります。



◀トリアージの様子



搬送後の治療の様子▶

南区事務長会バレーボール大会

平成29年5月13日(土)、福岡市南体育館にて、恒例のバレーボール大会が開催されました。南体育館の改修工事以降初の開催となり、真新しいピカピカのフロアで気持ちよくプレーすることができました。

さて、前回のサエラ46号で、「次回大会は必ず優勝します」と意気込みましたが、今回も準優勝に甘んじました。有限実行できずとても悔しいですが、納得のいくプレーはできたと思います。

現在、南区の強豪の一角とされている当院バレー部の威信にかけて、次回大会こそは優勝を勝ち取れるよう頑張りますので、今後も応援よろしくお願いします。



準優勝!

院 外 研 修 実 績

平成29年4月～平成29年6月

～ 講演・学会発表・研修会参加実績等 ～

※ 医師については学会発表・講演のみの掲載にしており、学会参加の掲載は省略しています。

■ 医局

日 付	学 会 名	演 者	演 題	場 所
5.13	第55回福岡整形外科外傷研究会	徳永 真巳	大腿骨顆上骨折偽関節の1例	福岡
5.18～21	第90回日本整形外科学会総会	徳永 真巳	関節鏡を応用した脛骨プラトー骨折の治療	仙台
		松田 匡弘	膝内側半月板後角断裂に伴う髄内信号変化の検討	仙台
6.4	Stryker Hip Fracture Symposium 2017	徳永 真巳	一筋縄ではいかないせん断力にさらされる大腿骨近位部骨折	東京
6.11	第4回九州大学骨折治療研究会	徳永 真巳	大腿骨頸部骨折	福岡
6.17	第24回整会Trauma Meeting	徳永 真巳	絶対に失敗しない不安定型大腿骨転子部骨折に対する髄内釘手術	名古屋
6.17～18	第133回西日本整形・災害外科学会	富永 冬樹	Persona TKAの脛骨コンポーネント回旋設置角度と被覆率の検討	久留米
			膝内側半月板後角断裂に対する縫合中止例の検討	久留米
			外傷性の筋皮下断裂により遅発性に生じた前腕コンパートメント症候群の1例	久留米
		井浦 広貴	内側半月板後角損傷における膝関節前方動揺性の検討	久留米
		美山 和毅	膝内側半月板後角断裂を認めた人工膝単置換術の検討	久留米
6.22～24	第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会	徳永 真巳	前十時靱帯解剖学的二重束再建術後再損傷に対する再々建術の成績	札幌
		吉本 栄治	内側半月板後角断裂が原因である骨壊死症例における膝前方動揺性	札幌
		松田 秀策	片側仮骨延長法後に人工膝関節へ至った症例の検討	札幌
		松田 匡弘	内側半月板後角縫合術の手術手技の変遷	札幌
		Matsuda M	Posterior Root Tears of the Medial Meniscus -Pathology and Treatment-	札幌

■ 放射線科

日 付	学 会 名	演 者	演 題	場 所
4.15	自衛隊病院勉強会	香月 伸介	臨床につながる肩関節のX線撮影	福岡
4.13～16	第73回日本放射線技術学会総会学術大会	釘宮 慎次郎	膝関節半月板におけるmagic angleの基礎的検討	神奈川
5.14	撮影分科会 第1回 骨関節撮影セミナー	香月 伸介	臨床につながる膝関節のX線撮影	福岡
5.27	versus 第15回マルチモダリティシンポジウム	釘宮 慎次郎	膝関節領域におけるCT検査	広島

■ 看護部

日 付	研 修 会 名 等	参加者
4.6～6.20	九州中央病院 新人看護職員受け入れ研修	5名
5.17	フレッシュナースセミナー	2名
5.17	設備・環境・設備安全セミナー	1名
5.18	正しい知識で感染を防ごう!	2名
5.20	FOSS研鑽会第107回研修会	3名
5.30～5.31	看護研究Ⅰはじめての看護研究	5名
6.1	新人のための感染予防の基礎知識	2名
6.3～6.4	運動器学会	2名
6.7	メンタルヘルス不調者復帰支援	1名
6.7～6.8	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	1名
6.18	必要度評価者 院内指導者研修会	4名
6.19	フィジカルアセスメントI基礎編	4名
6.21～6.22	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	1名
6月～2月40日間	実習指導者講習会	1名

■ リハビリテーション科

日 付	研 修 会 名 等	参加者
4.13	福岡整形外科勉強会 「肩周囲炎のアプローチ」 演者:藤田慎矢	1名
4.16	沖縄・福岡交流セミナー(沖縄) 「肩関節周囲炎の病理理解と肩甲帯へのアプローチ」 演者:藤田慎矢	1名
4.21, 5.26, 6.16	俺のための勉強会	4名
5.13～5.14	platz 研修会	1名
6.11	運動器を考える勉強会(福岡) 「運動連鎖を用いた下肢への臨床応用」 演者:藤田慎矢	1名
6.11	運動連鎖を用いた下肢への臨床応用	3名
6.29	sports medical coordinator 勉強会(福岡) 「肩甲帯の役割とアプローチ」 演者:藤田慎矢	1名

■ 臨床検査科

日 付	研 修 会 名 等	参加者
4.26	福岡地区一般検査勉強会	1名
6.17～6.18	日本超音波検査学会学術集会	2名

■ 医事課・MSW・総務課

日 付	研 修 会 名 等	参加者
4.27	南ソーシャルワーカー研究会	1名
6.10	福岡県社会福祉士会 後見人継続研修	1名

外来診察担当医一覧表

受付時間

曜日	午前(8:30~11:30) ※診察開始 9:00~						午後(13:30~16:00) ※診察開始 14:00~
月	王寺 享弘	吉本 栄治	松田 秀策	碓 博哉	松田 匡弘	井浦 国生	———
火	王寺 享弘	徳永 真巳 [※]	宮城 哲	松田 匡弘	井浦 国生	富永 冬樹	徳永 真巳 [※] 、前田 向陽 [※]
水	吉本 隆昌 [※]	徳永 真巳 [※]	吉本 栄治 [※]	碓 博哉	富永 冬樹	太田 昌成	———
木	吉本 隆昌 [※]	吉本 栄治	松田 秀策	太田 昌成	前田 向陽	—	吉本 隆昌 [※] 、碓 博哉 [※]
金	王寺 享弘	松田 秀策	松田 匡弘	井浦 国生	富永 冬樹	前田 向陽	宮城 哲 [※] 、太田 昌成 [※]
土	交替であたります(土曜の受付は11:00で終了致します。初診のみの対応です。)						———

※印の医師の診療につきましては、予約を行っております。医事課予約係までお電話ください。
予約受付時間/月曜~金曜 9:00~17:00

※これは平成29年9月1日現在のものであり、都合により変更になる場合もあります。また、学会・出張等により、休診になる場合もありますので、事前にお問い合わせください。
※火・木・金曜日の午後の診療は(再診のみの完全予約制)となります。



バス

- 天神(福ビル前or協和ビル前)より
51番
- 天神(大丸前)より
151番
- 博多駅(郵便局前バス停B・C・D)より
50番
- 博多駅(郵便局前バス停B・C・D)より
64・65・66・67番

野間四つ角で乗換え
50・51・151・区1番

西鉄大牟田線

- 高宮駅下車
50番
- バスに乘換え
51番

降車バス停
皿山1丁目



医療法人 同信会

福岡整形外科病院

FUKUOKA ORTHOPAEDIC HOSPITAL
整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科・麻酔科

〒815-0063 福岡市南区柳河内2丁目10-50

TEL 092-512-1581 FAX 092-553-1038

<http://www.fukuokaseikei.com/>

【面会時間】平日・土曜 / 13:00~20:00

日曜・祝祭日 / 10:00~20:00

【休診日】日曜・祝祭日

【病床数】175床



認定第 JC995 号

広報委員会からのお知らせ

広報委員会では広報誌の表紙を飾る写真や絵を随時募集しております。また、広報誌に関するご意見・ご感想もお待ちしておりますので、総務課までお寄せください。



Avispa
FUKUOKA

福岡整形外科病院はチームドクターとして
『アビスパ福岡』をサポートしています。
頑張れアビスパ！！